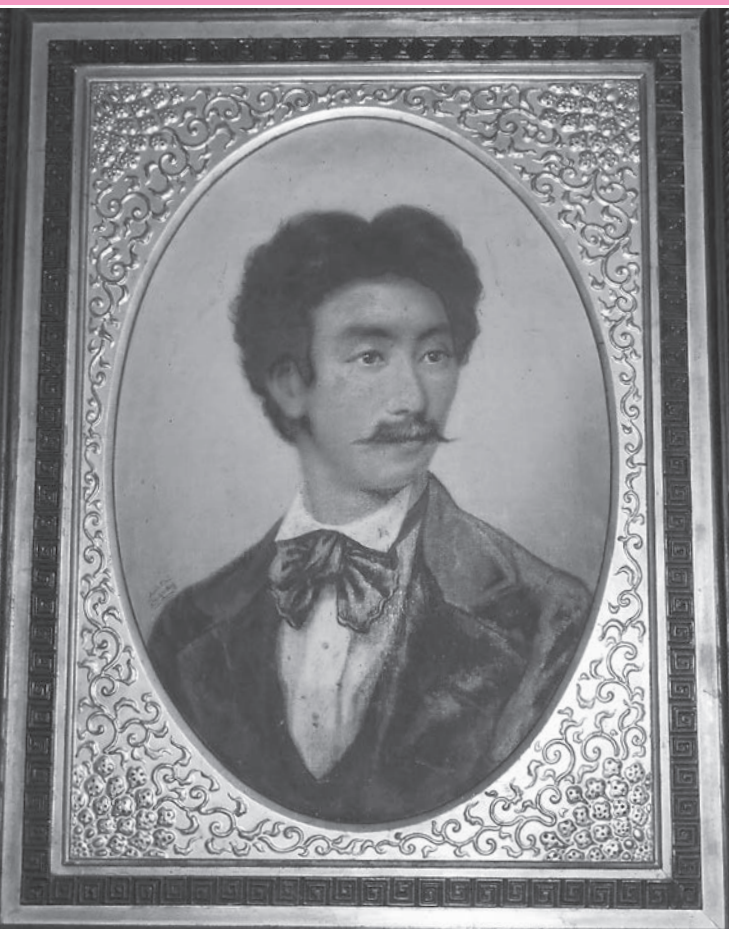


市議会だより No.57

令和2年5月15日



こうみょう じ さぶろう 光妙寺三郎

5年早く生を受けていたら彼こそ近代日本のリーダーになっていた。

光妙寺三郎は、防府市の勝間保育園そばにある光妙寺に眠っています。

住所：山口県防府市東三田尻1丁目8-18

光妙寺三郎君之墓

光妙寺三郎は、弘化4年(1847)周防国三田尻で光妙寺の第11世住職半雲の三男として生まれました。
慶応元年(1865)、三郎は長州藩の諸隊の一つである鴻城軍に入隊し、井上馨総督の書記役を務めます。入隊してきた三郎について、前掲雑誌「光妙寺三郎」には「年十六七歳、眉目頗る清秀なり。言語明晰、老成人の如し」と記録されています。
明治維新後、三郎は藩費留学生となり、フランス留学の許可を受け、パリ大学法学部に入学した1875年には、カフェ・ラザール(カフェ・アメリカン)で同じ法学部に入学してきた西園寺公望と出会います。以後3年間、二人は交友しながら青春の日々を送ります。
そして、三郎は、1878年2月23日、日本人として初めてパリ大学から法学士証書を授与されます。帰国した三郎は、太政官権少書記官に任ぜられ法制局専断となり官務の道を歩み始めます。1880年に外務省少書記官に転任、1882年には外務書記官に昇進し、フランス駐在を命じられます。しかし、公使と折り合わないため帰国し、1885年に依願退職します。
その後、1886年には検事(奏任官一等)に任ぜられますが、検事総長の不評を得て辞職します。また、1890年の第1回総選挙には山口県第一区から出馬し当選しましたが、1893年にはあらゆる官職から退いてしまいます。留学から帰国しての三郎は、官僚としても代議士としても成功しなかったのです。
三郎は、権力と離れたところでの交友に恵まれ、東洋のルソーと評される中江光民や、西園寺公望、学界や女性たちと交わりつつ、1893年9月26日、肺結核により43歳で亡くなりました。
「光妙寺三郎君之墓」は、1896年に文部大臣西園寺公望によって東京の光福寺墓地に建立され、平成10年、郷里の光妙寺へ移築されたものです。



こうみょう じ さぶろう

光妙寺三郎は、弘化4年(1847)周防国三田尻で光妙寺の第11世住職半雲の三男として生まれ、慶応元年(1865)長州藩の諸隊の一つである鴻城軍率いる井上馨の書記役となりました。その才能を認められ、明治維新後、藩費留学生となり、フランス、パリ大学法学部に入学し、日本人として初めてパリ大学から法学士証書を授与されました。

留学中に、同じ法学部に入学してきた西園寺公望と親交を深め、帰国後は太政官権少書記官、外務省少書記官、外務書記官を歴任し、1890年の第一回総選挙には山口県第一区から出馬し当選しましたが、1893年9月26日肺結核により46歳で亡くなりました。

写真の墓は1896年に当時の文部大臣西園寺公望によって東京の光福寺墓地に建立されたものが、平成10年、故郷の光妙寺へ移築されたものです。

3月定例議会

議案の概要 P2

一般質問 P4～P10

特別委員会の報告 P11

所管事務調査の報告 P11

議会日誌 P12

6月定例議会の予定 P12



議会中継がスマートフォンで見られます! 防府市議会



令和2年 3月 定例議会

3月定例議会は2月26日から3月25日までの会期29日間の日程で開催されました。

令和元年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計補正予算、留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正、令和2年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計予算、市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定、公会堂設置及び管理条例の一部改正など議案41件、推薦1件、選任1件、報告6件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」はP3をご覧ください。

予算

■令和2年度一般会計予算

当初予算規模は、令和元年度当初予算に対し、マイナス4.6%、20億1,500万円減額（予算規模は過去2番目の規模）の421億7,500万円とする予算案が提出されました。反対意見もありましたが賛成多数で可決されました。（賛否No.3）

主な事業などは次のとおりです。

・新庁舎建設事業

防災の拠点である新庁舎の建設については、令和6年度の供用開始を目指し「実施設計」などに取り組みます。県の総合庁舎や文化福祉会館などの機能を取り込むことで市民サービスの向上に努めるものです。

（2億1,059万円）

・ICT教育推進事業

令和元年度補正予算と合わせ、全市立小・中学校において高速通信ネットワークを整備するとともに、タブレット端末を児童・生徒に1人1台配備するなどICT教育環境の充実を図るものです。（4億5,145万円）

・防府駅周辺施設整備事業

防府駅構内のトイレの全面改修、駅周辺の防犯カメラの設置を行うことで利用者の安全・安心を確保するものです。（2,832万円）

・市道栄町藤本町線道路整備事業

駅北側の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図るとともに緊急車両の進入路や避難路を確保し、防災機能の強化を図るものです。（3,826万円）

・葉酸サプリメント配布事業

妊娠中の母体の健康と胎児の健全な発育のため、婚姻届出時及び母子健康手帳交付時において、希望される方を対象に葉酸サプリメントを配布するものです。

（100万円）

・空き家総合対策事業

増え続ける空き家が引き起こす問題に対して、利活用から解体まで、危険度に応じた補助制度などの総合的な対策を行うものです。（2,671万円）

・新規就農者支援事業

就農準備と就農開始を支援し、新規就農者の確保と定着を図るものです。（2,759万円）

・商店街魅力向上事業

商店街の空き店舗の外観改装に対してその工事費の一部を補助するものです。（500万円）

・すごいな！すごいぞ！防府キャンペーン

防府観光コンベンション協会等と一体となって主要観光施設にフォーカスしたイベントを開催するなど、観光分野の発信力を強化するものです。（1,250万円）

・オリンピック・パラリンピック関連事業

市民や関係団体と一体となり、「聖火リレー」「採火」、パブリックビューイングの実施、出場選手による学校訪問など東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げるものです。（477万円）

令和2年3月時点

人事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任	むらた 村田	しょうこ 晶子さん（大字牟礼）
新任	ほりこし 堀越	まさみ 政美さん（本橋町）
新任	まつうら 松浦	かずこ 和子さん（八王子二丁目）

■監査委員の選任

再任	よしまつ 吉松	たかし 隆さん（大字鈴屋）
----	------------	------------------

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

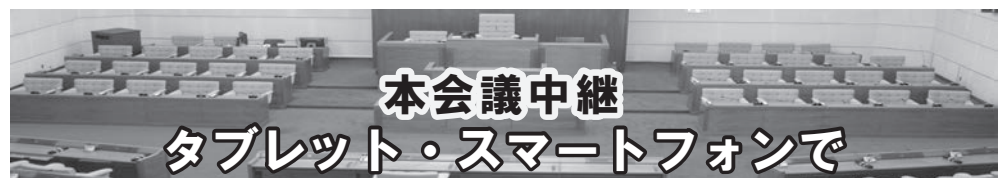
○賛成 ×反対

賛否 No.	令和2年3月定例会	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果			
		自由民主党 清流会					自由民主党				防府市政会				公明党		絆		日本共産党		改革				市民クラブ		爽風会
		牛見	河杉	曾我	橋本	安村	石田	上田	宇多村	行重	今津	清水浩	田中敏	藤村	河村	高砂	山根	三原	山田	清水力	山本	和田	田中健		吉村	久保	賛成
1	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	21	2	可決
2	国民健康保険条例の改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	20	3	可決
3	令和2年度一般会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	19	4	可決
4	令和2年度国民健康保険事業特別会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	20	3	可決
5	令和2年度介護保険事業特別会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	22	1	可決
6	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	20	3	可決
7	令和2年度水道事業会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	22	1	可決

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。

※河杉議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

タブレット、スマートフォンなどで本会議の中継が見られます



《アクセス方法》

- ①「防府市議会」で「検索」し、「防府市議会—防府市公式ホームページ」をクリック。
- ② 防府市議会のトップページから「議会中継」をクリック。
- ③「議会の中継（外部リンク）」をクリック。
- ④「議会中継のページはこちらからご覧ください。（外部リンク）」をクリック。
- ⑤「防府市議会中継」から選択し、クリック。

防府市議会では、開かれた議会の一環として、インターネット中継映像を配信しています。

タブレットやスマートフォンなどからも、ご覧いただけます。



Q&A

一般質問



3月定例議会では、20名の議員が一般質問を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う担当部署等の業務負担に配慮し、一部の議員が、通告した一般質問の全部または一部を取り下げ、11名の議員が改めて文書質問をしました。

ここでは、質問者が要約した質問と回答の内容を一般質問通告順に掲載しています。（文書質問については、「問」の部分に「(文書)」と記載しています。）また、防府市議会のホームページで一般質問の会議録や録画映像、文書質問の回答を見ることができます。



新庁舎建設計画の問題点

今津 誠一（防府市政会）

問 市長は、県総合庁舎機能（保健所と土木事務所）と警察署の市庁舎敷地への移転は、土地利用の高度化や住民サービスの向上を図るためと説明しているが、土地利用の高度化は市民のためではなく、県のためではないか。また、住民サービスの向上というが、果たしてどれだけの市民がどのようなサービスをどのくらいの頻度で享受するのか、サービスの実体を示してほしい。

市長 事務所の物理的な接近により、さまざまな利便性や事務の効率性が向上する。

意見 土地利用の高度化は、県に敷地を提供すること

ではなく、市と市民のために活用すべき。また、県と市の事務事業はほとんど重なる部分はなくサービス向上の実体はない。

問 基本設計案の是非を判断するには、建物（庁舎棟、福祉棟、立体駐車場）のレイアウトと共に建設費の概算を押さえる必要がある。これまで再三求めたが頑として明らかにされない。全体の事業費は示され、庁舎棟の延べ床面積と建設工法（免震構造鉄骨造）、福祉棟と立体駐車場の延べ床面積と建設工法（耐震構造鉄骨造）は既に決定しており、概算を示すことは決して難しくないと思うが、どうか。

総務部理事 今後の実施設計において、詳細の検討を行っていくので、基本設計では総額の提示に留めている。



新型コロナウイルス感染症への対応について

河村 孝（公明党）

問（文書） 新型コロナウイルス感染症への市民の不安解消のため、まずは、早く、正確で、的確な情報発信を。

回答 市長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を1月28日に立ち上げ、情報発信は、市ホームページに専用ページを設け、分かりやすくて確かな情報提供に努めている。また、市庁舎、公民館、小中学校等に感染予防対策チラシを配布し掲示。3月3日に県内の感染者の確認を受け、自治会の協力で全戸に文書配布を実施。

問（文書） 市民へいち早く情報を届けるため「市メールサービス」が重要。加入者数増加の推進と周知を。

回答 メールサービスは、毎年、豪雨災害への防災意識

が高まる梅雨時期を中心に、市広報で登録を勧めている。現在、感染症関連情報を即時発信しているので、通常の掲載時期から前倒しで4月1日号でも登録を促す。

問（文書） 職員の感染症対策は。

回答 感染予防策を徹底し、万が一、職員に呼吸器の風邪症状がみられるときは、出勤を控え、所属長へ報告し、毎日体温を記録すること等を通知している。

問（文書） 万が一、市職員が感染した場合の対応は。

回答 県山口健康福祉センター等と連携し、直ちに該当する職場を一時的に閉鎖し、職場内の消毒や濃厚接触者の確認等を行い、感染拡大防止を図る。

問（文書） 市内の中小企業への経済面の対応は。

回答 国の緊急対応策等の動向を注視し、関係機関と連携した支援と、必要に応じた補正予算の計上など、しっかりと取り組む。（令和2年3月25日現在）



新年度予算に対する市長の思いは！！

橋本 龍太郎（自由民主党清流会）

問 市長は、予算編成の基本方針で、市民生活の向上、将来にわたって住み続けたい活力ある防府市にするための施策について重点的に取り組むと言われているが、その思いを令和2年度の予算にどのように反映されたのか？

市長 令和2年度予算は、市民の命が第一として、防災対策を最重要課題に位置づけ、先送りできないものを重点的に取り組んだ。防災対策は、河川関係の整備と監視、情報提供で豪雨災害への対策を強化。防災拠点となる新庁舎は、令和6年春の供用開始を目指し実施設計を行う。また、佐波川右岸地域の防災公園の検

討に入るなど、災害に強いまちづくりを目指す。

さらに、子どもの成長に合わせた支援策として、ワクチン予防接種の公費負担や木の玩具の贈呈事業、読書活動の支援など幼児期の教育環境の整備やスクールゾーンの整備など通学時の安全を確保。また、小・中学校では国の整備計画を大幅に前倒して、令和3年度からタブレット端末1人1台体制によるICT教育を一斉に開始する。

今後とも財政健全化の取組を引き続き進めていくが、中期財政計画の目標である財政調整基金残高20億円以上を維持できる持続可能な財政構造への転換に向けた取組としては、現時点では一定のめどをつけたと考えている。



新たな総合計画について！ 食育について！

山田 耕治（絆）

問 総合計画の策定にあたってのビジョンは？

市長 「明るく豊かで健やかな防府」という、まちの将来像を明らかにしたい。「市民生活の安全・安心」、「産業の振興」や「将来の防府を担う子どもたちの育成」などを重点的に推進していく計画とする。

問 目まぐるしく変化する時代の中で、実効性を重視した計画へ見直す必要があるのでは？

市長 実効性を重視し、写真やイラストも取り入れた分かりやすい計画とする。

問 部長級コミットメント制度を導入し、部長宣言をホームページに掲載しては？

市長 新年度予算が決まった後に、導入したい。

◆ 食育について！

問 やまぐち健康アプリを商工会議所と啓発しては？

健康福祉部長 取り組んでいく。

問 子ども達が成長する第二発育急進期に、食材の選び方や最適な栄養バランスのとり方、正しい食習慣等を教える機会を作るべきでは？

教育長 児童生徒の育成に取り組んでいきたい。

問 食育の推進をしているNPO法人が、公民館でのチラシの掲示や講演をする場合の対応を見直すべきでは？

市長 市の推進する食育施策と合致しているものは共催し、使用料の減免やチラシが置けるよう対応したい。



元説明会の開催など、しっかりと対応していく。

問（文書） 読売マラソン地元優先枠「幸せます防府枠」を、記念大会同様30名から100名に増やしてほしい。

回答 100名の定員を継続する方向で調整する。

問（文書） 農業を教育に取り入れてはどうか。

回答 今後、農業に関する教育活動を更に充実させる。

問（文書） ほ場整備が計画されていない地域の土地利用型農業は壊滅的な状態だが、今後の対策は。

回答 ほ場整備の必要性について住民に周知を行う。

問（文書） 市内で農地中間管理機構に貸出希望があり、借り手が見つからない農地の合計面積は。

回答 現在、57haが借りられていない。

問（文書） 市のカロリーベース食料自給率は何%か。

回答 国は37%で、市は18%となっている。

その他 農業後継者問題・第三者承継の仕組みづくり等



地下水枯渇の対策を！ 読売マラソン地元優先枠を30→100名に！ 他3項目 石田 卓成（自由民主党）

問（文書） 各自治会が行う道路補修や水路補修の際に受ける資材支給の相談受付窓口の一本化をしてほしい。

回答 令和2年度から、一本化に取り組んでいきたい。

問（文書） 住民参加による協働の道づくり地域支援制度のような仕組みを作してほしい。

回答 意見を伺いながら、良い制度を考えていきたい。

問（文書） 空き家対策相談受付窓口の一本化をしては。

回答 組織の改編等を行い、窓口の一本化を図る。

問（文書） 上右田では50世帯以上で地下水が枯渇している。水道本管の布設が必要となるが今後の予定は。

回答 一定の基準を満たせば水道管の布設は可能。地



水産市場エリアの活性化について 浸水被害の軽減について

安村 政治（自由民主党清流会）

問 新築地町の水産卸売市場と潮彩市場の連携についての考えは。また、潮彩市場で漁業者や県漁協女性部の直接販売も行っては。

市長 水産業の発展のために、県漁協が実施する令和改革プランの取組支援を進める。市場施設の老朽化対策、集荷力や販売力の強化など6項目を柱に、魚食文化の発信、秋穂市場の機能集約、水産物の集荷対策などを実施すると聞いている。潮彩市場を含めた周辺地域の環境整備を進め、水産市場と潮彩市場の連携を強化し、水産市場エリア全体の活性化に努めたい。また、潮彩市場での漁業者らの直接販売については、有効な

方策の一つであり、県漁協と協議を進めたい。

問（文書） 市民の安全・安心の観点から大雨による河川の氾濫を防ぐことは最重要課題であり、市では緊急自然災害防止対策事業を活用し、河川の浚渫に取り組んでいるが、令和元年度の事業の実施状況と令和2年度の予定は。

市長 令和元年度は2億円を計上して、小野、右田、牟礼、新田、中関、玉祖地区の16河川の浚渫を実施し、令和2年の梅雨入りまでに完了予定。令和2年度においては、さらに2億円を計上し、残りの19河川の浚渫を実施予定。必要最低限の大規模な浚渫は、令和2年度までに概ね実施できる予定だが、浚渫等の維持管理は今後も毎年実施しなければならないことから「緊急浚渫事業」の活用も視野に入れ、検討する。



2025年問題と介護福祉、持続可能な 地域旅客運送サービスについて

宇多村 史朗（自由民主党）

問 超高齢社会をむかえ介護保険給付費をどのように抑制していくか。

市長 令和2年度から介護事業所との連携により週1回運動や趣味活動等を行うことのできる、短期集中介護予防サービス「元気アップくらぶ」を各地域に立ち上げ、介護予防・自立支援を進める。

問 医療と介護との連携をどのように進めていくか。

市長 医療・介護連携推進協議会を設置し、情報共有や相談・提供体制の構築を検討している。

問 地域公共交通をめぐる課題の一つである、運転士不足の深刻化について、どのように対応していくか。

総合政策部長 持続可能な公共交通の実現を図るため、地域公共交通網形成計画を策定し、地域公共交通活性化協議会において検討している。現在、国や関係機関において、運転士の確保のための取組を実施されている。国に対し地域の実情に応じた運転士の確保対策の更なる充実を働きかけていく。現在、民間事業者により病院・商業施設等の送迎サービスや福祉運送などが行われており、これらを地域の移動手段として活用していくことや、地域が主体となった移動支援の取組などについて協議していく。



地域経済分析で地域活性化を 立地適正化計画でのハザードエリア

田中 健次（市民クラブ）

問 地方創生に取り組む中で、「産業振興に向けた地域経済分析」の実施を掲げていたが、どのような取組がされたか。また、今後どのように進めていくのか。

市長 山口大学との包括連携協定を締結し、検討したが、実施に至っていない。国の「地域経済分析システム（リーサス）」活用のため、中国経済産業局の職員を講師にリーサスの研修会を開催した。

新たな総合計画策定にあたり、産業振興施策を検討する過程で、リーサスや国や県の統計データを地域内経済分析に活用し、現状や課題の整理をしたい。

問 策定中の立地適正化計画において、ハザードエリ

アをどう取り扱うのか。

土木都市建設部長 「居住誘導区域」に含めない区域は、①土砂災害のレッドゾーンとイエローゾーン、②浸水被害の家屋倒壊等氾濫想定区域と3m以上の浸水想定区域、③津波被害の津波の高さ2m以上の区域を検討。高潮災害は被害の発生が事前予測でき、事前避難が可能なため、居住誘導区域から外さない。

問（文書） 防府市公会堂は、大隈講堂、日比谷公会堂等を設計した建築家佐藤武夫の代表作であり、登録文化財とすべきではないか。

回答 登録することは、将来、大規模改修や建て替え等の際に大きな課題となる場合があり、慎重に検討したい。





期日前投票について サポカー補助金について

山根 祐二（公明党）

問（文書） 令和2年11月の市議会議員選挙の期日前投票について、どのように取り組むのか伺う。次に本年、衆議院議員選挙が実施された場合の期日前投票所設置についてどのように想定されているのか。

回答 これまで市役所本庁舎1カ所のみで実施しており、前回の市議会議員選挙、平成29年10月の衆議院議員選挙では台風接近の要因もあり、長時間の待ち時間が発生した。そこで、以前の議員の期日前投票所についての質問に対し、「システムの導入をし、あわせて増設も同時に実施したい」と回答している。期日前投票所の増設は、11月の市議会議員選挙からとし、それ

以降の選挙は同様の期日前投票所を設置する。

問（文書） 東京で発生した高齢ドライバーによる車両暴走事故では、母子が死亡し、男女8人が重軽傷を負った。免許を自主返納する人も増えているが、仕事や買い物などで手放せない高齢者も少なくない。そのため、安全運転機能を搭載した「サポカー」の購入を補助する国の補正予算が成立した。助成制度の周知や、体験試乗等、利用推進に取り組むべきと考えるが、ご所見を伺う。

回答 国において、65歳以上の高齢者に対し、サポカー補助制度が創設され、市のホームページで紹介している。これまでも、必要な身体能力や判断能力の現状を認識するため「高齢ドライバー 炎のチャレンジ」や「交通安全高齢者自転車大会」を毎年開催している。自動車販売店の協力を得て、サポカーに同乗する機会を設けているところだが、引き続き実施していく。



農業振興について

行重 延昭（自由民主党）

問 「農林業の知と技の拠点」の外部ほ場が大道上り熊地区に設置されることが決定されたが、地域の農業振興にどのように繋げていくのか。

市長 本市の発展のためには、農業の活性化が必要であり、県の農業試験場と林業指導センターの農業大学校への移転、統合による「農林業の知と技の拠点」の形成を契機とした農業の持続的発展を図ることが重要と考えている。外部ほ場が整備されることにより、上り熊地区で「スマート農業」等の先端技術に間近に触れることができるようになり、大道地域が先端技術の発信拠点となることから、地域イメージの向上にも繋

がり、新規就農希望者の増加が期待されるなど、本市全体の農業活性化に繋がるものと確信している。

問 集落営農の連合体として「株式会社ファーム大道」が設立されたが、市としてどのように支援していくのか。

市長 この連合体制度は、個別の集落営農法人を活かしながら、複数の集落営農法人等が出資して新たな法人を設立し、共同事業に取り組むもので、規模の拡大と効率化による持続可能な生産活動を行うとともに、地域雇用の中心となる受け皿となる、全国に先駆けた山口県独自の取組であり、今後、高齢化等、離農が進む農家の農地の受け皿として、また、地域のセーフティネットとしての役割も期待されている。連合体の経営基盤を早期に確立させ、地域農業の成功事例となるよう、必要な機械等の導入について、県とともに、補正予算と新年度予算で一体的に支援することとしている。



ダブルケア・多重介護支援について エンディングプランサポート事業について

高砂 朋子（公明党）

問（文書） 少子高齢化が進む中、育児と介護を同時進行するダブルケア、1人で複数の方を同時に介護する多重介護が増加。子育て、介護、貧困等の領域を横断し、包括的で多世代にまたがるケア関係を視野に入れた支援の仕組みを作るべき。市の取組状況は。

回答 地域包括支援センター、障害相談支援事業所及び子育て世代包括支援センターなどにおいて連携し、情報の共有に努めながら対応している。

問（文書） 相談しやすい体制の構築が必要では。

回答 窓口相談に加え、電話やメールでの対応、訪問対応も。必要に応じて夜間・休日の対応をすることもある。

問（文書） 「マイエンディングノート」の活用による自らの人生の終わりに向けた活動「終活」への支援が必要では。

回答 無料配付中の「マイエンディングノート」は大変好評。今後も「終活」に対する情報の提供に努める。

問（文書） 横須賀市の「エンディングプランサポート事業」は、独居高齢者で頼れる身寄りが無く、経済的に大変な方を対象に、葬儀、納骨、死亡届出人、終末期医療における事前指示書等の終活課題について相談やその解決に向けた連携・支援を行う。市の見解は。

回答 横須賀市をはじめ、他の自治体の取組を参考に、独居高齢者が安心して暮らせるよう努めて参りたい。





防府市のデジタル変革をどのように進めていくのか？

牛見 ^{わたる} 航（自由民主党清流会）

問 5G時代のスタートに伴い、民間はもちろんのこと行政としてもデジタルのインフラ整備に対応していかなければいけない。また新庁舎の建て替えという多額の予算を使つての投資を控えている。これらと連動した防府市のデジタル変革についてどのように進めていくのか？

市長 情報通信技術の目まぐるしい変化に対応できるようにしていく。ICTの活用は市民の安全・安心やサービス向上、業務の効率化など様々な分野で活用が可能がある。

市ICT推進本部にて個別・具体的な検討を進めてい

るが目指す方向性などは来年度に策定する新しい総合計画に反映させていく。

また、将来を担う子供たちがいち早くICT技術に触れる機会の創出のため、令和2年度中に全ての小・中学生へタブレット端末を整備することを決めた。

問 防府市出身でヤフー(株)の元社長である東京都副知事 宮坂学さんのように自治体においてもCDO（最高デジタル責任者）を配備する動きが見受けられる。ぜひ検討いただきたいがどうか？

市長 さらに変革に的確に対応できる専門的な知識を持つ方をアドバイザーに据えるなど国の動きを見ながら進めていく。



防府読売マラソン、スポーツセンター陸上競技場の使用方法について

清水 浩司（防府市議会）

問（文書） 第50回大会に相応しい歓迎看板を防府駅に掲示することを期待していたが今までどおりだった。

回答 駅コンコース内で特別写真展を開催したが、今後はより選手に見えやすい位置を検討する。

問（文書） ブラインドランナーに近づくると危険なため、一般ランナーに対し、注意喚起する必要がある。

回答 伴走者への専用ビブス着用などにより配慮している。今後は、スタート地点で一般ランナーに注意喚起できるように検討する。



問（文書） スタート地点は4車線を使うべきと思うがいかがか。

回答 次回からは4車線化するように改善する。

問（文書） 後夜祭に、市マラソン関係職員が参加して選手の話聞いてはどうか。

回答 初めて後夜祭を開催したが、参加者から様々な意見をいただいた。意見を活かし、より良い大会にしたい。

問（文書） 経済波及効果を分析しているか。

回答 事務局としては改めて調査することは考えていないが、市民の方に愛される大会になるように運営したい。

問（文書） 冬場の陸上競技場ナイター照明の利用時間に配慮してほしいと要望があるがいかがか。

回答 冬季は日没が早いので季節ごとの日没時間を踏まえ見直しを行う。また、スタンドの照明は照らす範囲が狭いことなどから安全上使用できない。



「吹奏楽のまち 防府」の取組について「ホストタウン事業について」

藤村 こずえ（防府市議会）

問 本市は小・中・高校の部活動として吹奏楽が大変盛んなまちである。さらには年間を通して音楽イベントが開催され、子どもから大人まで楽器に親しむ方も多く、身近で音楽に触れる環境があり、十分に「吹奏楽のまち」のステータスがある。そこで、わがまち文化として「吹奏楽のまち」を大きく発信してはいかがか。

市長 本市ホームページにおいて各団体の活動内容、実績など、積極的にPRしていく。

問 令和2年度では、以前から要望していたふるさと納税の指定寄附制度に楽器の更新、購入の項目が追加されたことに感謝申し上げる。今後、本市の吹奏楽の

素晴らしさを知っていただくため、市主催のイベントで積極的に演奏をお願いするなど、本市の文化としての取組を広げることがを要望する。



要望 セルビアバレーボールチームのホストタウンとして、官民一体となった、本市の特色を活かしたオリジナリティあふれる取組は好評との声を聞いている。今後は、オリンピック本番に向け、セルビアチームを最高のおもてなしで迎え、万全のコンディションでオリンピックに送り出すことがホストタウンの使命だと思う。きっと多くの市民に大きな思い出を残す今大会を、今回限りのイベントにするのではなく、特に子どもたちにはセルビアとの交流を通して今後グローバルな意識を育んでいくための取組に期待をする。



市負担額は19年間で1億8,500万円 赤字運営サイクリングターミナル

三原 昭治（絆）

- 問** サイクリングターミナル運営状況と今後の取組は。
- 市長** 市直営で運営してきたが、経営の悪化が問題となり、廃止を含めた議論が行われた。平成26年度から5年間、民間企業に運営委託したが撤退。今後は施設改修を行い、改めて指定管理者を募集する。
- 問** 平成12～30年度間は赤字運営だが、市の負担額は。
- 地域交流部長** 直営期間1億4,300万円、指定管理企業の赤字補てん約1,800万円を加え合計1億8,500万円。
- 問** 開設から39年、譲渡から19年経過。これまでの改修内容は。
- 地域交流部長** 委託時に必要最小限の改修のみ。



野島診療所について 学校施設の防災機能について

清水 力志（日本共産党）

- 問（文書）** 令和元年度の当初予算で野島診療所の改修工事予算が計上されたが、具体的な改修内容は。
- 回答** 診療所利用者専用の出入口と待合室を新設し、スロープと手すりの設置・壁の張替え・手洗い器の設置・空調の更新・トイレの一部改修等を実施した。
- 要望** 今後も地域の方々にとって頼りになる診療所であることを要望する。
- 問（文書）** 本市の学校施設の防災機能強化の現状は。
- 回答** 構造体の耐震化対策は平成29年度に、屋内運動場の天井等落下防止対策は平成30年度に完了。一定の食料や生活用品等の備蓄の充実を図り、発電機や投光



防府警察署の市庁舎敷地内の移転について 住宅リフォーム助成制度について

山本 久江（日本共産党）

- 問** 防府警察署を市庁舎敷地内に移転することのメリット、必要性をどのように考えているか。
- 総務部理事** 県道の東側に建っていることから、右折出勤時の危険性や遅延等に伴う治安上の不安等に関する地域の声もあり、市役所との行き来の際には、県道を渡る必要があるため、交通安全上の危険性もある。現庁舎敷地を中心とした行政ゾーンを形成し土地利用の高度化を図ること、防災拠点機能を強化し、住民サービスの向上を図ることができる。移転後の跡地については、民間等による土地利用の高度化等を期待したい。

- 問** 青少年の健全育成と住民福祉の向上が目的だが、宿泊内訳は。住民とは市民を指すが、利用状況は。
- 地域交流部長** 平成30年度は、合宿2,366人、観光428人、仕事928人。市民利用は1割程度。
- 問** 開設以降の自転車の更新は。
- 地域交流部長** 更新はしていない。
- 問** 新たな管理者は、プロの前管理者に優るノウハウを備えた企業でなければならないと思うが。
- 地域交流部長** 青少年育成に理解ある団体と考える。
- 問** 事業の継続に当たって事業計画がされているか。
- 地域交流部長** 指定管理者が計画を立てられると思う。
- 問** 市民の税金を投じる公共事業は、民間的な感覚を持って取り組むべきだ。
- 市長** 青少年の健全育成の観点から原点に立ち返り、民間の気持ちを持って進めていきたい。

器、簡易トイレや要配慮者用テント等の充実に努め、令和2年度予算において計上している。

- 問（文書）** 本市では27の学校が避難所として指定されているが、施設利用計画の策定は。
- 回答** 避難所運営に携わる関係者が連携し、研修等を通じて啓発していく。
- 問（文書）** 屋内運動場や校舎の段差解消や多目的トイレの整備について、今後はどのようにして整備するのか。
- 回答** 全ての学校に整備が行き届いていないのが現状。配慮を必要とされる方の利用を考慮しながら、施設の改修に併せて整備するなど、順次実施していく。
- 問（文書）** 防災面から屋内運動場にエアコンの設置を。
- 回答** 屋内運動場を避難所として使用する際、エアコン設置が必要な場合は、民間業者との防災協力協定により、迅速にエアコンを設置する。

意見 市庁舎敷地内に防府警察署を誘致することについて、計画の見直しを求める声が多い。この場所は、日常的には、駐車場や多目的に利用できる場として、災害時には、防災拠点にふさわしい活動が展開できる場として重要である。県への要望は見直しを。

- 問** 市民から喜ばれている住宅リフォーム助成制度の実績は。
- 産業振興部長** 令和元年度は件数が831件、助成金額が約5,500万円、対象事業費は約7億2,640万円の見込み。
- 問** これほどの実績がある事業をなぜ、廃止するのか。
- 産業振興部長** 令和2年度予算の事業検討にあたり、ビルド・アンド・スクラップの発想をもち、新たに「安全・安心・住まい助成事業」や「商店街魅力向上事業」等を構築した。地域経済の活性化を図りたい。



交通弱者、交通不便地域の解消について 野外運動施設のシェルターについて

和田 敏明 (改革)

問 (文書) これからの超高齢化社会に対し、医療機関やスーパー等から離れた場所に居住の方や運転免許証を返納された方の安定した日常生活の確保、交通弱者、交通不便地域の解消の実現、また、持続可能な交通手段についてどのようにお考えか。

回答 民間事業者や地域主体の移動支援等を協議したい。

問 (文書) 令和2年2月に、玉祖地域の対象エリア以外の地区の方に、なぜデマンドタクシーの利用についてアンケート調査を行われたのか。

回答 今後の地域交通サービスに向けて、玉祖地域全

域の意見を伺うため。

問 (文書) 対象エリアを大字単位ぐらいとし、そこに行政がワゴン車程度の車を提供し、その運転手等はエリア内の住人で対応するというような方策を進めることはできないか。

回答 一つの方策と考えられる。今後、協議・検討する際の参考にしたい。

問 (文書) これまで、サッカー場等の整備にあたり、議会や委員会等で機会あるごとに、シェルター（屋根付きベンチ・観客席）設置を強く訴えかけてきたが、未だ不十分である。また、グラウンド内に設置されている観客席は危険であり早急に防球ネット等の配慮を施すべきではないか。

回答 屋根付きベンチ・観客席は、設置場所や方法を検討する。防球ネットの整備等、安全対策を実施する。



新庁舎建設について 入札制度の見直しについて

曽我 好則 (自由民主党清流会)

問 新庁舎基本設計(案)は、平常時のみならず、災害時も配慮した計画になっている。また、県の土木事務所や水産事務所、現在、新型コロナウイルスの市内唯一の窓口でもある健康福祉センターの合築に加え、これから市役所敷地内に警察署の誘致も進める計画となっている。

これらを誘致するのに、執行部と議会が一体となり県に要望したのは当然であり、事前に聞いてないとか、未だに必要ないという議員がいる。今はプライドより市民サービスの向上に努めるべきであり、他に意図があるのか。一昨年の市長選挙で、農業試験場の代わりに県立総合医療センターが山口市に行くとか、山口市と

合併するとか、市民を誤った方向に誘導すべきでない。

今後は、令和6年度の供用を目指す、ご所見を伺う。

市長 市役所敷地を中心とした行政ゾーンの形成で、土地利用の高度化、防災拠点の強化、市民サービスの向上を図り、今後は駅周辺のまちづくりを含め、より一層市勢発展に取り組む。

まとめ 県の防府総合庁舎は古く、建替の時期を迎え、山口市には立派な総合庁舎があり、そちらに引き上げるのが定石だ。何とか残ってもらうために合築という名案を出したのが市長である。私は、県の施設を合築しなくていいという議員は、本市に県の施設はいらないという意味であり、困るのは市民であり、関連企業だと申し上げる。

問 (文書) 業務委託では入札制度の見直しが必要では。

回答 最低制限価格制度を試行導入する。

第8回防府市議会議員研修会

(2月10日開催)

「自治体の防災・減災マネジメントと議会・議員の役割」と題し、跡見学園女子大学教授である鍵屋一氏^{かぎや はじめ}を講師に迎え、議会棟において議員研修会を開催しました。

災害の現場を間近で見られたご経験に基づき、災害時の行政の対応、議会・議員の役割、地域防災のあり方などについて、詳しくご説明いただきました。

研修会には、議員のほか、議会モニター、市職員も参加し、有意義な研修会となりました。この研修会で得た知識を、今後の防災施策に活かせるよう努めていきます。



議会モニターとの意見交換会

(2月14日開催)

議会棟において、議会モニターとの意見交換会が行われました。

意見交換会では、「モニターとなって、議会運営の仕組みや市政に関する興味が持てた」「議場コンサートや子ども議会などの催しを通して議会と市民の距離を縮めてほしい」「自治会の研修として議会傍聴を取り入れてはいかがか」など、活発な意見が出されました。議会モニターの皆さまからのご意見・ご提言に対する回答については、議会ホームページや、ほうふ市議会だよりに掲載していきます。



特別委員会報告

総合交通体系調査特別委員会

(1月20日～22日)

〔視察報告〕

■「福祉ムーバー」の取組について (群馬県太田市)

福祉Moverとは、通所者の方々が、通院や買い物等で外出したい時にスマートフォンを使って送迎中の介護送迎車両を呼び出すことができ、人工知能(AI)が最適な送迎車両を瞬時に判断・手配するシステムです。このシステムはデイ



サービスを利用しない日の外出支援も考慮した施策にもなっており、新たな交通網の考え方として、大変勉強になりました。

■交通まちづくりの推進について (愛知県豊田市)

中山間地域における多機能集約型のスマートモビリティサービスですが、将来の自動運転社会の実現を見据え、新たなモビリティサービスの社会実装を通じた移動課題の解決及び地域活性化を目指し、地域と企業の協働による意欲的な挑戦を促す新プロジェクトを実施しています。特別委員会として、地域ごとの交通課題の解決に向けた施策を引き続き提案していきます。

庁舎建設調査特別委員会 (1月23日)

令和元年11月、12月の新庁舎建設市民ワークショップと今後の予定について執行部の説明を受けました。

■市民ワークショップでの意見・要望と検討状況

- ・市民窓口近くに、チャレンジショップやコンビニエンスストアの導入を検討する。
- ・文化センターは、土日や夜間利用時のセキュリティ確保や運用の利便性から、庁舎棟最上階に集約する。

■今後の予定

- ・2月下旬から1か月間、基本設計案に対するパブリックコメントを実施、基本設計を確定する。

- ・令和2年度実施設計、令和3～5年度新庁舎・福祉棟建設、令和6年度新庁舎供用開始の予定。

■執行部の説明に対する質疑

問 市民利用スペース以外の事項について、市民の意見を聞く機会を設ける予定はあるのか。

答 市民説明会等については予定していない。

要望 庁舎敷地のレイアウトや立体駐車場の詳細など検討中の事項が多く、議会に示される情報が少ない。議会への説明や報告をしっかりとお願いしたい。

※パブリックコメント後、3月末に基本設計が確定。詳しくは、市庁舎建設室ホームページをご覧ください。

所管事務調査

教育民生委員会

(2月19日)

■学校教育(全国学力・学習状況調査の結果)について

全国的な児童・生徒の学力や学習状態を把握・分析して教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため実施している。

学力の二極化、ICT教育等について質疑を行い、教育委員会からは、子どもが学びへ向かう意欲、夢や目標を持って自分のビジョンを描けるような授業ができるよう指導・支援していきたいとの回答があった。

■空き家等対策(空き家実態調査の結果)について

空き家の現状を把握、空き家対策の基礎資料として活用するため、市内全域の空き家(戸建て住宅等)の戸数や場所、不良度について調査を実施した。

議員からは、市民の方が終活を行う上で日々生活を営んでいる住まいについても、しっかり問題意識を持っていただけるよう福祉部門との連携や、他市で取り組まれている空き家ガイドブックの配布が必要ではないか等の意見があった。



マチを好きになるアプリ



ほうふ市議会だよりをスマートフォン向けアプリで配信します!

①下記サイトから専用アプリ「マチイロ」をダウンロード
<http://machihiro.town/>

②「お住まいの地域」を防府市に設定

③広報紙のページから、ほうふ市議会だよりをチェック!

議会日誌

2月

- 3日 議会改革推進協議会
- 5日 議会改革の視察受入（愛知県知立市）
- 10日 議員研修会
議会改革推進協議会
- 14日 議会モニターとの意見交換会
- 17日 全員協議会
議会改革推進協議会
- 19日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 20日 勉強会
- 21日 議会運営委員会
- 26日 3月定例議会開会
予算委員会（全体会）
広報編集委員会
- 27日 常任委員会・予算分科会（総務、教育民生、
産業建設）
- 28日 予算委員会（全体会）
議会運営委員会

3月

- 4日 議会運営委員会
本会議（委員長報告、市長施政方針等）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
広報編集委員会
- 11日 予算委員会（全体会）
- 13日 総務委員会・予算分科会（総務）
- 16日 教育民生委員会・予算分科会（教育民生）
- 17日 産業建設委員会・予算分科会（産業建設）
- 19日 予算委員会（全体会）
議会運営委員会
議会改革推進協議会

- 25日 3月定例議会閉会
全員協議会
広報編集委員会
議会改革推進協議会

4月

- 2日 議会改革推進協議会
- 6日 広報編集委員会
- 10日 議会改革推進協議会
- 16日 広報編集委員会
- 21日 議会改革推進委員会

6月定例議会の予定

- 6月15日 本会議（開会）
- 18日 本会議（一般質問）
- 19日 本会議（一般質問）
- 22日 本会議（一般質問）
- 23日 本会議（一般質問）
- 25日 予算委員会（全体会）
- 26日 総務委員会・予算委員会分科会（総務）
- 29日 教育民生委員会・予算委員会分科会（教育民生）
- 30日 産業建設委員会・予算委員会分科会（産業建設）
- 7月3日 予算委員会（全体会・採決）
- 7月8日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記 議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎宇多村史朗 ○牛見 航 藤村こずえ 山根祐二 山本久江 行重延昭

現在、世界中、日本国中がコロナウイルスの猛威にさらされています。市民の皆様におかれましては、衛生管理、健康管理に十分留意されますよう、お願いいたします。

さて、ほうふ市議会だよりは、本号から縦書きを横書きに、また、全体の色合いも工夫して、より見やすい紙面へと変更いたしました。皆様のご意見をお待ちしております。

